

第 10 回世界交通学会 (WCTR)

宮川 昌之*

By Masayuki MIYAKAWA

2004年7月4日～7月8日までの5日間、イスタンブール(トルコ)にて第10回世界交通学会(10th world conference on transport research)が開催された。イスタンブールはヨーロッパとアジアの両大陸にまたがる人口1,200万のトルコ最大の都市である。

本大会は、トルコ交通大臣のスピーチが地元メディアに取り上げられるなど、学会関係者以外に一般市民の間でも反響があったようである。大会では、11のセッションに対し、世界各国から2,000を超える論文が寄せられた。IBSからは戦略開発研究グループの杉田浩、および経済社会研究室の佐藤徹治、宮川昌之の3名が参加し、2編の論文を発表した。

杉田は、セッションF“空間・環境に関する経済と工学”のF2“都市パターンと交通”セッション

で、地方都市における自動車依存型都市形成の実態に関する論文を発表し、佐藤・宮川は、セッションE“アセスメント、評価とシナリオ”のE1“アセスメントと評価手法”セッションで、交通インフラ長期計画を評価するマクロ経済モデルについての論文を発表し、活発な議論が繰り広げられた。

表-1 セッション題目

- | | |
|---|---------------------|
| A | 交通手段 |
| B | 交通システム |
| C | 計画、運営、マネジメントとコントロール |
| D | 交通モデル |
| E | アセスメント、評価とシナリオ |
| F | 空間・環境に関する経済と工学 |
| G | 発展途上国の交通 |
| H | 交通政策、規制(規制緩和) 補助と投資 |
| I | 交通知識に対する情報ネットワーク |
| J | 交通に関する現在の話題 |
| T | 交通調査 |



図-1 イスタンブール新市街



図-2 講演の様子(メイン会場)



図-3 Gala Dinner(懇親会)

* 経済社会研究室